

WakU²中部支部

中堅技術者懇談会 2023.9.29 Fri. at ウィンクあいち



THEME エンジニアのジレンマ ～技術者自身の葛藤・経験を相互に共有し、今後に活かす～

中部地区の自動車関連企業で活躍する35歳前後の中堅技術者の方々が、所属会社・経歴の枠をこえて交流することによる人脈作り、また技術者に求められる資質能力向上の気づきを得る場となるよう、毎年懇談会を開催しています。

2021年は、新型コロナウイルスの影響を受け中止。2022年は、遠方の方も参加しやすいよう積極的にオンラインを活用して開催。2023年は、3年ぶりに実地で開催し、12社23名の方に参加をいただきました。

テーマである『エンジニアのジレンマ』に対し、「チャレンジャー号事故」と「モラル・マシン問題」の二つを題材として取り上げ、1チーム5～6人でグループ討議をおこないました。チャレンジャー号事故では、周囲や上位者と自身の技術的な見解が異なったときに、技術者としてどうすべきかなどを討議。モラル・マシンでは、最初に各自のシミュレーション結果をグループメンバーで共有したうえで、相互に考え方の違いがあることを認識したり、新技

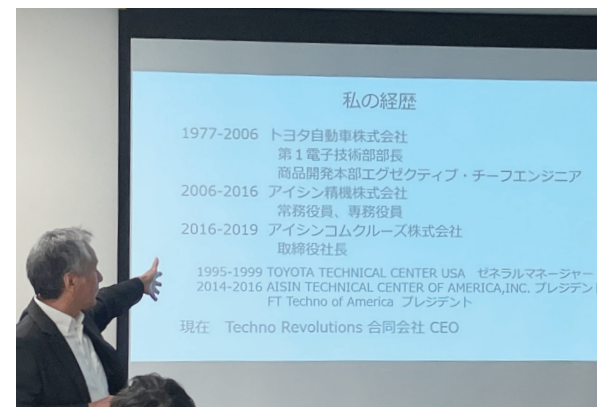
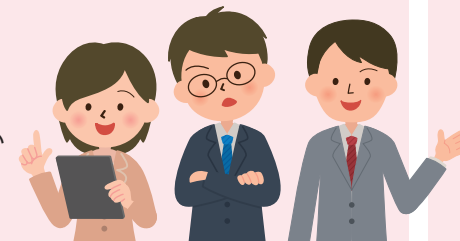
術を世間に出すときに気を付けることは何か?を話し合いました。どちらの題材にも正解はないのですが、全メンバーが自主的に自分の意見を述べ、活発な意見交換がおこなわれました。

また、討議の合間に、Techno Revolutions LLC CEO 加藤喜昭様よりご講演いただきました。自動車会社、部品会社など海外含めた複数の会社で技術者・経営者として仕事をされたご経歴から、新技術開発時に技術者としてどうあるべきかを当時の裏話も交えながら、技術者だからこそ共感でき、かつ日頃の悩みの助けになる心に響くお話をたくさんいただきました。

1日を通じ、参加者間で技術者としての自身のジレンマや経験を共有し、一皮むけた技術者になるきっかけを各自思い思いに掴んでいただきました。また、懇親会後には、参加者同士でLINE交換するなど、技術者同士の交流・ネットワーク作りにつながる場になったのではないかと思います。

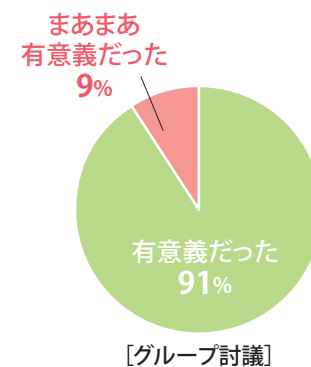
参加者の声

- 考え方、モラル、政治背景を踏まえて、倫理観をもって業務に取り組む必要があると感じた
- 仕事をすることの楽しさを再認識することができた
- 自分とは違う考え方を聞くことができ、刺激的な1日でした
- 答えの出ない課題も考え抜いて仕事をしていきたい
- 次も一緒に仕事をしたい、と言ってもらえるようがんばりたい
- 相手の立場に寄り添い意見を伝えることを意識したい

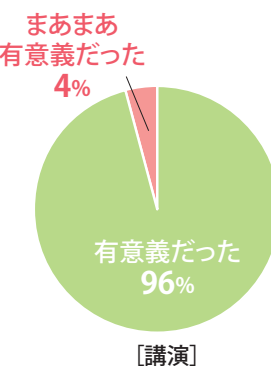


DATA

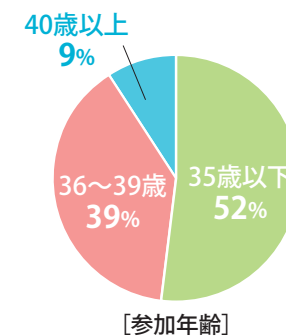
参加者数
23名/12社



[グループ討議]



[講演]



[参加年齢]

グループ討議・講演ともに高評価

※今回の参加者年齢の内訳も参考に記載。